

平成 27 年度

事業計画及び予算書

公益財団法人いばらき文化振興財団

目 次

I 事業計画	1 ~ 12
II 収支予算	13 ~ 17

I 事業計画

基本方針	1
1 法人運営事業	1
2 公益目的事業1（文化振興事業）	2 ~ 6
3 収益事業1（県民文化センター自主事業）	7
4 公益目的事業2（水族館事業）	7 ~ 12
5 収益事業2（水族館売店事業）	12

I 事業計画

基本方針

当財団は、「各種の文化振興事業を行うことにより個性豊かな県民文化の振興を図り、もって国際性豊かな文化の県づくりに寄与する」ことを目的として事業を実施する。

また、公益法人として引き続き公益的な事業を遂行することによって、公益認定基準を遵守し、かつ健全で責任ある経営に努めるものとする。

平成27年度は、事業を実施するにあたっては、中期経営計画に即し、様々な芸術公演を県民に提供するとともに、文化芸術の担い手を育成するほか、県民の文化活動の拠点である「茨城県立県民文化センター」の管理運営、子どもから大人まで楽しみながら学ぶ海の総合ミュージアムである「アクアワールド茨城県大洗水族館」の運営を行い、県民から愛され、親しまれる施設運営と事業展開に努める。

文化振興事業については、自主事業に加え、本県文化芸術のさらなる活性化や震災からの心の復興を図り、優れた文化芸術にふれる機会を県民に幅広く提供することを目的とする県の委託事業を併せて実施する。

また、茨城県立県民文化センターにおいては、引き続き施設の適切な運営を行うとともに、本年度末で指定管理期間が終了するため、次期指定管理者の申請を行う。さらに、平成28年度に開館50周年を迎えることから、県と協議のうえ記念事業に向けた準備を進める。

一方、アクアワールド茨城県大洗水族館においては、5月に開館累計入場者数1,500万人達成が見込まれ、さらなる飛躍の1年として、一層の展示・企画等の充実やサービスの提供に努める。

これを踏まえ、平成27年度の財団全体の施設年間利用者目標数は、前年度当初計画比6万人増の約176万人（県民文化センター利用者数60.8万人、アクアワールド茨城県大洗水族館総入場者数115万人）とする。

1 法人運営事業

(1) 事務局の運営

県から指定管理を受けた茨城県立県民文化センターの管理運営及び財団自らが運営するアクアワールド茨城県大洗水族館の運営及びこれらに必要な付帯事業について、県及び各事業所との連絡調整等引き続き緊密な連携を図る。また、業務推進の進行管理及び事務事業執行についての指導を行うとともに次の事業を行う。

ア 理事会、評議員会の開催をはじめ、財団の事業計画及び収支予算等理事会議案の策定を行う。

イ 中期経営計画推進委員会において、進行管理及び進捗状況を検証するとともに、計画達成に向けた対策を行う。

ウ 職員の資質向上を目的とし、階層別研修を行うほか、各種セミナーを積極的に活用し、必要な知識の習得に努める。また、救急法に関する研修を実施し、不特定多数の利用者が利用する施設職員として必要な技能の習得を図る。

2 公益目的事業1（文化振興事業）

(1) 自主公演事業（主催公演16事業、共催公演11事業、計27事業）

自主公演事業を「普及」「参加創造」「鑑賞」の3つの事業に区分し、目的・テーマ別に公演を企画することで、県民各層のニーズに適切に対応するとともに、地域文化の担い手の育成をはかり、より一層の県民の文化意識の高揚を図る。

ア 普及事業

本県音楽文化の向上を図ることを目的とした第41回茨城県新人演奏会や生の演奏を身近に地域住民に体感してもらう「公共スペースコンサート」を開催する。また、オペラを身近に鑑賞出来る機会として「はじめてのオペラ鑑賞」を開催するほか、公演に併せてレクチャーを開催し、文化芸術の普及を図る。

イ 参加創造事業

若手演奏家の発表機会の提供と育成を図ることを目的に、登録アーティスト（茨城県新人演奏会出演者等）を活用し、プログラム内容を独自に企画制作したオリジナルコンサート開催する。

ウ 鑑賞事業

- ・ 「スロバキア室内オーケストラ&錦織健」をはじめ宝塚歌劇、松竹大歌舞伎など、優れた舞台芸術公演を鑑賞する機会を提供する。
- ・ 県内の公立文化会館と連携を図った鑑賞ツアーを企画する。
- ・ 県民の要望に応えるため、多種多様なジャンルの公演を開催する。

(公演計画)

	月 日	公 演 名	会 場
普及事業	7月26日(日)	歌舞伎をより楽しむ会	県文小ホール
	9月13日(日)	第41回茨城県新人演奏会	県文大ホール
	10月14日(水)	オペラをより楽しむ会	県文小ホール
	1月31日(日)	はじめてのオペラ鑑賞	鹿行生涯学習センター
	通年	公共スペースコンサート（4事業）	県内公共施設
造参 事加 業創	12月23日(水)	プロムナードコンサートV o l . 11	県文小ホール
	2月13日(土)	プロムナードコンサートV o l . 12	県文小ホール
鑑賞事業	6月17日(水)	宝塚歌劇 星組公演全国ツアー（2回公演）	ひたちなか市文化会館
	7月5日(日)	きかんしゃトーマスファミリーミュージカル（2回公演）	県文大ホール
	7月26日(日)	松竹大歌舞伎（2回公演）	県文大ホール
	11月13日(金)	大野雄二&ルパンティックファイブ	県文大ホール
	12月19日(土)	劇団鳥獣戯画	県文小ホール
	1月15日(金)	スロヴァキア室内オーケストラ&錦織健	県文大ホール
主催事業 計（16事業）			

(共催事業)

	月 日	公 演 名	会 場
鑑賞事業	4月8日(水)	立川談春 三十周年記念落語会	県文小ホール
	4月25日(土)	加山雄三ファイナルホールコンサート	県文大ホール
	6月7日(日)	舞劇 DanceDrama「朱鷺」(2回公演)	県文大ホール
	6月20日(土)	GAME SYMPHONY JAPAN 交響組曲	県文大ホール
	7月4日(土)	美輪明宏ロマンティック音楽会	県文大ホール
	10月10日(土)	南こうせつ・伊勢正三 SPECIAL CONCERT2015	県文大ホール
	10月11日(日)	郷ひろみコンサート	県文大ホール
	12月2日(水)	葉加瀬太郎コンサート	県文大ホール
	12月3日(木)	タンゴ・ロマンス	県文小ホール
	3月5日(土)	週末よしもとお笑いまつり in 水戸	県文大ホール
	未定	コーラス	県文大ホール
共催事業 計 (11事業)			

※ 会場欄の「県文」は県民文化センターの略。

(2) 受託事業 (37事業)

本県の文化芸術活動の促進等を図るため、茨城県からの受託公演事業(いばらき文化芸術創造・発信事業)として次の事業を行う。

小中学校へのアウトリーチ事業として、登録アーティストを活用し、音楽出前講座を30校実施する(洋楽20校, 邦楽10校)

また、アーティストの育成を図るため、本県出身の新進演奏家や有名アーティストによる無料コンサートの開催及び、水戸室内管弦楽団のメンバーによる県内中高生を対象とした公開レッスンを開催する。

かさま国際音楽アカデミーのプレコンサートを実施する。

さらに、本格的で質の高い海外の舞台公演を鑑賞する機会を提供するため、チェコを代表するオペラハウス、プラハ国立歌劇場と本県出身の世界的ソプラノ歌手中丸三千繪によるオペラ「椿姫」を上演する。

(受託事業計画)

実施日	公 演 名	会 場
通年	音楽出前講座	県内小中学校 30校
5月15日(土)	水戸室内管弦楽団メンバーによる公開レッスン	水戸芸術館
未定		
9月5日(土)	みんなで楽しむオーケストラ	結城市民文化センター 常陸大宮市文化センター
9月6日(日)		
10月14日(水)	プラハ国立歌劇場「椿姫」(ソリスト, 中丸 三千繪)	県文大ホール
3月19日(土)	かさま国際音楽アカデミープレコンサート	県文大ホール
3月	かさま国際音楽アカデミー参加支援	—
受託事業 計 (37事業)		

(3) 財団振興事業

財団の事業内容を広く県民にアピールするため、各事業所が連携を図り、文化振

興につながる共通的な事業や広報活動等を展開する。

(4) 文化芸術活動への助成

文化活動を行う団体等に対して事業費の一部を助成し、県民の自主的・個性的な文化活動を支援奨励する。

事 項	内 容
助 成 件 数	50事業
1事業当たりの助成額	50万円以内

(5) 市町村文化施設及び地元演奏家等への支援

県内の文化団体からの申請を受けて後援を行うとともに、企画等について助言などを行う。

(6) 茨城県立県民文化センターの管理運営事業

県民文化センター利用者のニーズに応え安全安心で快適に施設が利用できるような管理運営に努めていく。

第2期指定管理期間の5年目（最終年度）となるため、申請した際に掲げた目標の検証を行うとともに、次期指定管理者に指定されるよう、事業計画及び安全管理面等の見直しを行い、第3期指定管理者の申請を行う。

〔指定管理部門（公1）〕

本年度の利用者数は608千人、利用料金収入は108,500千円と計画する。なお、利用率は、中期経営計画のとおり施設全体で83%とする。

この計画を達成するため、一層のサービスの向上を図り、新規団体やリピーターの確保に努めるとともに、1月限定の利用料金割引制度を周知する等、閑散期の利用促進を図る。

また、開館から49年目となること、さらに次年度が開館50周年となることから、経年劣化した施設を計画的に修繕するとともに、今後の施設・設備の長寿命化に努める。

ア 施設の利用促進及びサービスの向上

(ア) 1月限定割引制度による利用促進

閑散期の利用促進を図るため、1月限定で「施設利用料金の割引」を継続して実施する。（大ホール、小ホール、展示室、県民ギャラリーの施設利用料（付帯設備を除く）の「50%割引」）

(イ) 新規利用者（団体等）への誘客及びリピーターの確保

- ・ 催し物ご案内（情報紙）を毎月12,000部発行（200箇所程度配付）。
- ・ ホームページのリニューアル及び最新情報更新による利用促進。
- ・ ダイレクトメールを発送及び、企業（大規模団体）等への訪問。
- ・ 日刊紙等、効果的な有料広告及び、取材・無料記事掲載ができるような各種情報及び話題提供。

(ウ) 関係各団体等との連携強化

- ・ 茨城県公立文化施設協議会との連携及び、情報の共有。
- ・ 全国公立文化施設協議会理事及び関東甲信越静地区公立文化施設協議会支部長としての会議等の開催及び、各館との連携を図る。
- ・ 県民文化センター友の会との連携によるチケット販売促進及び会員の利用促進。
- ・ 茨城県及び水戸市観光協会（コンベンションビューロー）等各関係団体との連携による全国規模の大会等の誘致及び利用促進。

(エ) サービスの向上

- ・ インターネット及び Wi-Fi 接続サービス
昨年 10 月にサービスを開始した本館の Wi-Fi 接続サービスの継続及び談話室での「いばキラ TV」放映などによる利用者向けサービスを充実させる。
- ・ 会場申し込み及び公演等チケット販売業務の毎日午後 7 時までの延長。
- ・ 主要な書式等のダウンロード環境整備。
- ・ 利用満足度調査（アンケート調査）結果の半期毎におけるホームページ掲載。
- ・ 応接研修など更なるスキルアップのための研修。

(オ) イルミネーション事業

冬の観光スポットのひとつとしての役割を担っているイルミネーション事業の実施による文化センターのイメージアップを図る。なお、開催にあたってはグリーン電力の活用を図る。

第 15 回茨城県立県民文化センターイルミネーション

点灯期間：平成 27 年 11 月 13 日（県民の日）～

平成 27 年 12 月 25 日まで（43 日間）

(カ) 県民文化センター友の会の運営

県民文化センター友の会は、県民文化センター事業及び県民文化水準の向上に大きく寄与してきたことから、今後もサービスの向上及び会員の確保を図る。

(キ) ワンコインコンサートの開催

昨年度新規事業として実行委員会を立ち上げ年度下期に 3 回実施した本事業は、発売するとすぐに完売という状況であったことから、本年度は、当初から年 6 回実施する。

	実施予定日	出演者（楽器、ジャンル等）
第 4 回 ワンコインコンサート	平成 27 年 4 月 3 日	牛草 春（弦楽四重奏団）
第 5 回 //	平成 27 年 7 月 25 日	大江 雅子（マリンバ打楽器 3 重奏）
第 6 回 //	平成 27 年 8 月 23 日	未 定（弦楽器）
第 7 回 //	平成 27 年 11 月中旬	田村 由里, 福井 かやの（フルト&ハープ）
第 8 回 //	平成 27 年 12 月中旬	未 定（声楽）
第 9 回 //	平成 28 年 3 月中旬	未 定（ピアノ）

イ 安全・安心で快適な施設づくり

(ア) 施設整備計画

施設の老朽化を抑制するとともに長寿命化を図るため、計画的な修繕を実施する。なお、危険箇所の早期発見及び事故の未然防止に努め、緊急性の高い修繕箇所は優先し県と協議しながら実施する。

また、バリアフリーについては、催し物に合わせた障害者専用駐車場の臨時増設、車イスの増台、案内誘導板の増設を実施する。

(イ) 危機管理対策

東日本大震災で得た教訓を活かし、火災訓練のほか大規模地震を想定した避難訓練を実施し利用者の安全確保に努める。また、危機管理対応マニュアルの常時見直しとともに、全職員及び文化センター委託業者並びに使用者等、関係者全員に周知徹底させ、災害発生時には速やかに行動が出来るようにする。

- ・ 避難訓練（年2回、火災及び大規模地震を想定）の実施
- ・ 危機管理対応マニュアルの常時見直し
- ・ AEDの管理及び作動方法習得の徹底
- ・ 火災、地震発生時の対応のほか、不審者への対応、水害・傷病等への対応
- ・ 大ホール開催時には、別途警備員を1名配置し、緊急事態への敏速な対応に努める。
- ・ 関係各団体との連絡体系の整備（毎年確認）

(ウ) 開館50周年記念に向けた施設整備

開館50周年記念に向けて、県と協議し施設整備を進め、利用者が快適に施設を使用出来るよう努める。

*施設利用計画

区分	利用者数(人)	利用日数(日)	利用料金(円)	利用率(%)
大ホール	242,066	261	63,329,380	83
小ホール	80,190	285	13,618,081	85
集会室(6室)	106,493	337	7,370,236	85
分館集会室	44,544	316	12,302,008	85
和室	4,099	202	1,646,820	80
一般展示室	69,768	271	6,312,285	80
県民ギャラリー	60,840	212	3,921,190	80
計	608,000	1,884	108,500,000	83

* 利用率とは、利用可能日に対する利用日数の割合。

3 収益事業1（県民文化センター自主事業）

(1) グリル事業

グリル・売店は文化センター利用者への利便施設としての役割を踏まえた運営を図るため、グリル及び売店への利用者のニーズを把握し、営業形態、コストの見直し、経費節減を図り、健全経営に努める。

また、サービスの向上として、内外装の改善、応接マナーの向上及び、割安感のあるメニューの提供を図る。

(2) 駐車場事業

千波公園・県民文化センター前駐車場は、主に県民文化センター利用者のほか千波公園及び茨城県近代美術館等を利用するための多目的な駐車場として利用されており、利用者が安全安心で快適に利用できるよう施設の維持管理に努める。また、県によるバリアフリー化のための駐車場改修工事は本年度が最終年となる。

・平成27年度利用台数計画 151,000台

4 公益目的事業2（水族館事業）

(1) 水族館の運営

水族館は、基本テーマである「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」に沿って、地域の自然と世界の水生生物の生態環境を通して、生物の多様性や自然環境、地球環境について楽しみながら学ぶという、教育と娯楽性を兼ね備えた施設として運営する。

また、水族館が本来持っている「展示」「普及」「研究」の3つの機能を相互に連動させ、魅力ある海の総合ミュージアムとして次の機能を持たせた施設として運営する。

ア 驚き・楽しさ・やすらぎのアミューズメント（娯楽）要素を持った観光レクリエーション施設

イ 地域の文化と経済に貢献する拠点施設

ウ 海を通じた環境教育の場としての生涯学習施設

エ 自然保護と種の保存に関する実践・研究施設

オ 平成27年度は「更なる飛躍の1年」と位置づけて、総入場者数115万人を計画目標とする。

そのために、季節毎の様々な事業や生物展示の情報から「大洗水族館の魅力発信」を積極的に行い、「お客様の掘り起しと新規開拓」の初心に戻り、再スタートしていく。通年で茨城県と栃木県、また千葉・埼玉・福島・群馬の高速道路沿線を、重点地域として積極的な広報を行い、集客を図る。

さらに、館内案内表示、生物展示解説、イルカ・アシカの能力公開等を充実させ、新規生物の導入や生物の繁殖に努める。

また、施設整備については、中長期修繕計画に基づくとともに緊急性のあるものについては優先実施するなど安全な施設管理に努める。なお、水族館の運営にあたっては、採算性の視点に立った効率的な予算執行を行う。

(2) 飼育展示事業

基本テーマに沿った生物の多様性について、「見て、触れて、遊びながら楽しく学べる」展示の充実に努めるとともに水生生物等に関する調査・研究を行う。

また、種の保存、生物と自然環境に関する研究成果を還元し、教育的側面から生涯学習施設としての役割を担うほか、学芸員実習や中学生の職場体験学習、小学生総合学習等の受入れを行い、博物館相当施設としての役割を担う。

ア 魚類展示

- ・ 飼育生物の展示・飼育・繁殖研究を行い、入館者のニーズに即した新規生物の研究開発に努め、引き続き対外的な情報発信を強化する。展示テーマ以外の生物についても、既存水槽設備を最大限に活用しながら、季節展示やイベント・企画展などに組み入れる。特に今年度は、クラゲ類の展示充実に図るため水槽を増設するとともに、涸沼がラムサール条約に登録（6月予定）されるのを記念した展示を行うなど、地域と一体となった展示に努める。
- ・ アクアウォッチングなど対話形式の展示解説等において、更なる内容充実に図る。
- ・ 生物収集では、サメ類など新たな展示生物種の導入に向けて生物収集基地の開発のため、現地調査とともに関係構築を図る。
- ・ 調査研究では、大型サメ類の行動など、データの集積とともにその成果を公表しながら試験飼育を行い、できる限り展示に反映させるよう努める。

イ 海獣展示

海獣類の飼育、展示、繁殖、育成に関する研究を推進するとともに、イルカ・アシカのオーシャンライブによる能力公開や餌付けの解説など、動物の生態について、より楽しく学べる形で紹介する。

人気のあるイルカ・アシカオーシャンライブでは、訓練の強化やトレーナーのレベルアップを図り、年間を通してオーシャンライブの質の向上を目指す。

繁殖については、鯨類、鰐脚類及びエトピリカの繁殖を推進する。フンボルトペンギンは、新規血統を導入するため、他園館との個体及び種卵の交換を計画し実施する。また、カリフォルニアアシカの繁殖個体による新アシカショーを改修後のプールで開始する。

保護・調査研究については、関係機関との連携を図りながら茨城県沿岸への漂着（ストランディング）調査活動を引き続き推進する。

ウ 自然博物館水系展示水槽管理受託事業

ミュージアムパーク茨城県自然博物館から委託を受けた水系展示水槽の管理を行うとともに、水生生物の収集をはじめ各種展示解説や、自然環境調査協力等の業務を適切に実施する。

(3) 教育普及事業

生き物や環境等について、誰もが気軽に楽しみながら学ぶことができる活動を展開するため、展示物及び設備や人材の活用を図り、館内外で発見体験学習、レクチャー・展示解説等の活動を進める。また、ホームページや機関誌を通し

た各種情報の提供，学校等からの要請による自然観察会や講演会等への講師派遣，移動教室を行う。さらに，研修の受入れ（実習生，職場体験学習や各種団体等）を行うとともに，生涯学習施設としてボランティア活動支援を行う。

ア 発見体験学習の実施

生き物や自然環境，水族館に対する理解を促すため，大人向けの講座「マスタースクール」を新設するなど，次の事業を実施する。

（発見体験学習内容）

名 称	内 容	期 間
(1) 自然体験塾	実験観察室での生き物観察や工作，野外での自然観察会等，生き物や自然に関する講座を21テーマ，延べ30回実施。	通 年
(2) マスター スクール	大人向けの上級コース。生き物の生態や特徴の解説及びサメの解剖や給餌体験，イルカトレーナー体験などの講座を年間4回実施。	7・8・10・2月
(3) アクアパル	ポイント制会員クラブ。前年度までの2年間の講座に参加してポイントを獲得した参加者に対し，シラス漁にチャレンジ等の特別講座を3回実施。	6月頃 10月頃 1月頃
(4) さかなの絵 コンクール	入館者（小学生）を対象に，展示生物を写生する機会を提供し作品展と表彰式を開催。写生会は4回実施。昨年度までは，すべて土曜日の開催だったが2回は日曜に開催し，参加促進を図る。	10月～12月
(5) 絵てがみ展	旬の食べ物や行事，花や生き物等，季節や自然をテーマにした作品展の開催。毎月優秀作品を選考して館内に展示。	通 年

イ レクチャー及び展示解説の実施

展示生物や自然・環境に対する理解を深めてもらうために，入館者を対象に展示生物の生態等に関する解説サービスとして，なるほど魚っちんぐ（お魚発見教室レクチャー），アクアウォッチング（水中対話解説），お食事タイム（給餌解説）及び水族館探検ツアー（バックヤード案内）等の各種ショープログラムを実施する。

また，解説員の業務管理や指導，類似施設研修等を行い，レベルの高いパフォーマンスの維持に努める。

ウ コンピューター情報運用管理

館内情報端末及びホームページの適宜適切な管理を行う。この際，コンテンツ検索利便性向上のため，随時新たな情報の更新に努める。また，ホームページの閲覧者の動向分析やPR効果などを解析することにより，さらに有効な広報に努める。その他，解説ソフトやシステム等の更新計画について検討を行う。

エ ボランティア活動支援

生涯学習の一環として実施しているボランティア活動の支援を行う。

(年間活動内容)

- ・ 毎月1回役員会開催
- ・ 6月総会・10月他園館との交流研修・11月活動発表会「マンボラフェスタ」・2月接遇研修

オ 機関誌「Sea遊」の発行

水生生物等への理解促進を目的に、水族館のイメージアップ、広報を図るため展示生物の興味深い生態やトピックス等、様々な情報を紹介する機関誌を年2回発行する。

カ 企画展の開催

常設展では表現できないテーマを取り上げて、生き物や自然環境についての理解を促進するため、企画展を開催する。また、参加体験型の付帯事業を行う。

(企画展の内容)

名 称	内 容	開催期間
第23回企画展 「ふらふらぷらぷら プランクトン」	身近な存在でありながら、日頃意識することの少ない「プランクトン」の大きさや形、存在の重要性等を分かりやすく解説する。	平成27年1月17日 ～5月10日
第24回企画展 「子育て展」(仮称)	「つなげ命のバトン」をテーマに、海の動物たちの出会い、交尾、子育てについて、飛び出す絵本風の展示も取入れて分かりやすく解説する。	平成28年1月中旬 ～5月9日(予定)

キ 深海シアター・海の生き物科学館及びお魚発見教室展示機器等の運用管理

各アイテムの適正な展示機能を確保するため、随時、生物の補充や散発的に発生した動作不良、部品交換等の各種不具合の迅速な解消に努める。また、将来の展示物更新のための検討を行う。

その他、遊具(キッズランド)については、利用者の安全第一を考えた保安管理を実施する。

ク 自然教室等への講師派遣

教育機関等の各種要請に応じ、水生生物や環境等をテーマとして、自然観察会、移動教室等の各種館外活動を行う。

ケ 研修会等の受入れ

教育機関や団体からの要請に応じ、水生生物や飼育設備等をテーマとして、バックヤード見学、館内レクチャー、夜の水族館等の各種館内活動を行う。

コ 実習生の受入れ

社会教育施設、博物館相当施設としての役割を果たすため、学芸員・飼育実習、職場体験学習、インターンシップ等を受け入れる。

(4) 交流・連携事業（誘客促進）

常磐道の全線開通及び圏央道が延伸されることから、県内外の高速道路沿線を重点地域として情報発信と観光業者への広報営業を行うとともに、各種観光キャンペーンにより集客を図る。

また遠距離地域での入場者確保のため「割引券等配布」と「年間パスギフト券」の販路開拓、マスコミを意識した情報発信に努める。

夏の特別企画「恐竜のいた時代（仮称）」は、体験型展示を含め、話題性ある特別展示を行う。さらに、常磐線特急電光表示板、SNSなどで最新情報の発信を誘客促進につなげていく。

（催事計画）

催 事 名	期 間
GWイベント2015 ・飼育の写真展 ・5/2～6「みんな集まれフェスティバル」	4/25～5/6 GW期間 延長営業有
七夕イベント“七夕水槽，連携願い事短冊，館内装飾”	6/1～7/7
第40回 動物愛護標語コンクール	7/1～31
夏の特別企画「恐竜のいた時代」（仮称） ・古代生物を身近に感じる展示，生きた化石の生体展示	7/18～9/23 延長営業有
・シルバーウィーク関連事業「水族館の記録パネル展」	9/19～22 延長営業有
アクアフォトコンテスト2015 ・館内撮影生物写真のコンテスト，表彰	募集 6/1～8/31 投票 9/5～9/30
夜の水族館サマーナイト「延長営業」＜那珂湊花火＞	8/12 予定 延長営業
ハロウィンイベント2015 ・各種 ハロウィン関連イベント	10/1～31
年間パスポート所持者限定イベント	11/1～20
アクアワールドクリスマス2015 ・フォトスタジオ，サンタの家，他	11/21～12/25
年末・年始イベント ・チャレンジゲーム・干支水槽他	12/26～1/31
閑散期対策企画 ・映像で楽しめる水族館（予定）	1/10～2/28（案）
バレンタイン&ホワイトデーイベント	2/1～3/14
アクアワールド開館14周年感謝祭2015	3/1～4/3

(5) 管理運営部門

ア 利用状況及び売上状況等各種データの分析を行うとともに、経営調整会議・販売戦略会議・マーケットプレイス連絡会議を定期的に開催するなど、経営状況を随時

把握し安定経営に努める。

- イ 事務事業の効率化や省エネルギー推進委員会を開催し、積極的に省エネ化に取り組むなど、運営経費の節減に努める。
- ウ 接遇研修やコンプライアンス関係の研修等を実施し、職員の資質向上に努める。
- エ 消防訓練のほか地震・津波対策の避難訓練や、AED救急救命講習等を実施し、職員の危機管理意識や危機対応能力の向上を図る。
- オ 大洗公園駐車場及び臨時駐車場の借り上げ、シャトルバスの運行により、繁忙期の駐車場確保対策を行い周辺道路の渋滞緩和に努める。
- カ 生物飼料の残滓で製造された肥料を花木及び農産物生産を行う専門機関に配布して有効活用を図る。
- キ 腐食や老朽化による施設設備の修繕箇所増加に対応し、財団の積立金を有効に活用し安全な施設管理を行う。

5 収益事業2（水族館売店事業）

地域に貢献する観光拠点施設として、マーケットプレイスの物販部門、コーヒーショップ及びミュージアムショップを運営し、賑わいの創出や地域産品等の販売を行い、水族館の収入確保に努める。

また、オリジナル商品の開発、販売促進やホームページによる紹介などを行い、売上げ増に努める。また、照明の計画的なLED化など「地球に優しい環境」に改善していくことにより、ショップのイメージアップ及びサービスの向上に努める。

ア マーケットプレイス物販部門「モラモラ」の運営

ピルル・ブルル・ウルル・ミルルをはじめとするオリジナルキャラクター商品の販売促進に努めると共に、適正在庫の推進、そして季節毎の装飾、企画展イベントとタイアップした関連商品の販売、また15周年（平成29年3月21日）に向けた記念商品の開発等も行い、利用者の購買意欲を高め、利用率の向上を図る。さらに、昨年に引続き環境に配慮し、店舗什器照明のLED化の推進や、包装用資材の無駄の削減等、資源の保護にも努める。

イ コーヒーショップ「マーメイドギャラリー」の運営

季節やイベント等に合わせた「限定メニュー」や新メニューの開発を行い、収益確保に努めると共に、当館動線の間地点として「ちょっと一息できる空間（憩いの場）」を提供することにより、来館者に愛され親しまれるショップ運営に努める。また今年度は、材料費変動による商品価格設定の見直しを行う。

ウ ミュージアムショップ「ガレオス」の運営

ショップ名の由来であるサメを意識した商品を充実させ、モラモラとの差別化をより明確にし、ミュージアムショップとしての位置づけを確立し、店舗内レイアウトの改装の効果が売りに反映してきたところであるが、今年度は、さらにその意識を高め、大人をターゲットにしたハイグレード商品の取り扱いを促進し、更なる売上増を目指す。

Ⅱ 収 支 予 算

- 平成 27 年度公益財団法人いばらき文化振興財団収支予算書
(損益ベース)13～14
- 平成 27 年度公益財団法人いばらき文化振興財団収支予算書
(損益ベース) 内訳表15～16
- 公益財団法人いばらき文化振興財団平成 27 年度資金調達及び
設備投資の見込み書 17

平成27年度 公益財団法人いばらき文化振興財団収支予算書(損益ベース)
(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位:千円)

科目 \ 区分	当年度予算	前年度予算	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増益の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産等運用益	510	510	0
② 特定資産運用益	15,284	19,150	△ 3,866
③ 事業収益	2,515,466	2,401,767	113,699
自主公演入場料収益	40,025	29,513	10,512
受託公演入場料収益	6,600	6,000	600
手数料収益	9,305	9,910	△ 605
負担金収益	2,700	2,000	700
受託公演委託金収益	38,062	37,670	392
県民文化センター指定管理収益	184,870	184,870	0
県民文化センター利用料収益	108,500	107,600	900
自然博物館水系展示水槽 管理委託金収益	15,546	18,571	△ 3,025
水族館入場料収益	1,346,910	1,288,386	58,524
飲食料収益	46,000	47,000	△ 1,000
売店収益	683,648	636,847	46,801
諸収益	2,800	2,400	400
駐車場利用料収益	30,500	31,000	△ 500
④ 受取補助金等	62,102	59,466	2,636
受取財団運営費補助金	61,702	57,166	4,536
受取助成金	400	2,300	△ 1,900
⑤ 雑収益	12,274	12,661	△ 387
⑥ 指定正味財産からの振替額	10,265	4,281	5,984
経常収益計(A)	2,615,901	2,497,835	118,066
(2) 経常費用			0
① 事業費	3,015,442	2,831,985	183,457
文化活動団体等助成金	20,085	14,087	5,998
役員報酬	12,022	11,634	388
給料手当	494,815	481,991	12,824
賃金	161,492	167,255	△ 5,763
福利厚生費	3,092	3,135	△ 43
法定福利費	104,965	103,113	1,852
報償費	6,890	6,146	744
旅費交通費	8,250	9,558	△ 1,308
交際費	140	290	△ 150
消耗品費	72,947	72,134	813
燃料費	65,304	73,280	△ 7,976
会議費	1,766	2,164	△ 398
印刷製本費	32,818	30,314	2,504
光熱水費	252,067	247,157	4,910
修繕費	62,936	53,871	9,065
飼料費	25,164	24,470	694
医薬材料費	2,921	3,064	△ 143
脂材料費	40,180	40,534	△ 354
通信運搬費	6,829	7,058	△ 229
広告料	47,171	47,807	△ 636
手数料	58,193	57,771	422
保険料	2,298	2,060	238
委託料	540,801	542,484	△ 1,683
賃借料	68,379	63,013	5,366
工事請負費	21,242	73,760	△ 52,518
原材料費	374,223	347,706	26,517
生物購入費	14,697	11,262	3,435
消耗備品費	1,209	1,229	△ 20
負担金	4,957	7,825	△ 2,868
租税公課費	28,184	38,073	△ 9,889
退職給付費用	30,327	0	30,327
雑費	100	100	0
修繕工事負担金	419,729	263,143	156,586
果納付金	6,600	6,000	600
減価償却費	22,649	18,497	4,152
② 管理費	12,666	11,980	706
役員報酬	1,735	1,850	△ 115
給料手当	7,719	7,473	246
賃金	143	129	14

(単位:千円)

科目 \ 区分	当年度予算	前年度予算	増 減
福利厚生費	4	4	0
法定福利費	1,501	1,475	26
旅費交通費	165	195	△ 30
消耗品費	110	101	9
燃料費	6	6	0
会議費	23	26	△ 3
印刷製本費	189	346	△ 157
通信運搬費	22	23	△ 1
手数料	10	29	△ 19
委託料	85	85	0
賃借料	186	182	4
消耗備品費	1	1	0
負担金	24	23	1
租税公課費	2	2	0
退職給付費用	668	0	668
減価償却費	93	30	63
経常費用計(B)	3,028,128	2,843,965	184,163
当期経常増減額(A)-(B)	△ 412,227	△ 346,130	△ 66,097
2 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計(C)	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計(D)	0	0	0
当期経常外増減額(C)-(D)	0	0	0
他会計振替額(E)	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 412,227	△ 346,130	△ 66,097
一般正味財産期首残高	1,760,746	1,846,164	△ 85,418
一般正味財産期末残高	1,348,519	1,500,034	△ 151,515
II 指定正味財産増減の部			0
① 一般正味財産への振替額	△ 10,265	△ 4,281	△ 5,984
当期指定正味財産増減額	△ 10,265	△ 4,281	△ 5,984
指定正味財産期首残高	682,080	683,067	△ 987
指定正味財産期末残高	671,815	678,786	△ 6,971
III 正味財産期末残高	2,020,334	2,178,820	△ 158,486

平成27年度 公益財団法人いばらき文化振興財団収支予算書(損益ベース) 内訳表
(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位:千円)

科目 \ 区分	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	合計
	公1 文化 振興 事業	公2 水族 館事 業	小計	収1 文化 自主 セン ター	収2 水族 館売 店事 業	小計		
I 一般正味財産増減の部								
II 経常増益の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産等運用益	108	402	510	0	0	0	0	510
② 特定資産運用益	11,192	2,613	13,805	648	298	946	533	15,284
③ 事業収益	378,887	1,362,456	1,741,343	110,475	663,648	774,123	0	2,515,466
自主公演入場料収益	40,025	0	40,025	0	0	0	0	40,025
受託公演入場料収益	6,600	0	6,600	0	0	0	0	6,600
手数料収益	9,305	0	9,305	0	0	0	0	9,305
負担金収益	2,700	0	2,700	0	0	0	0	2,700
受託公演委託金収益	38,062	0	38,062	0	0	0	0	38,062
文化の担い手育成事業委託金	0	0	0	0	0	0	0	0
県民文化センター指定管理収益	184,870	0	184,870	0	0	0	0	184,870
県民文化センター利用料収益	97,325	0	97,325	11,175	0	11,175	0	108,500
自然博物館水系展示水槽 管理委託金収益	0	15,546	15,546	0	0	0	0	15,546
水族館入場料収益	0	1,346,910	1,346,910	0	0	0	0	1,346,910
飲食料収益	0	0	0	46,000	0	46,000	0	46,000
売店収益	0	0	0	20,000	663,648	683,648	0	683,648
諸収益	0	0	0	2,800	0	2,800	0	2,800
駐車場利用料収益	0	0	0	30,500	0	30,500	0	30,500
④ 受取補助金等	29,809	20,093	49,902	0	0	0	12,200	62,102
受取財団運営費補助金	29,409	20,093	49,502	0	0	0	12,200	61,702
受取助成金	400	0	400	0	0	0	0	400
⑤ 雑収益	1,201	3,020	4,221	0	8,053	8,053	0	12,274
⑥ 指定正味財産からの振替額	10,265	0	10,265	0	0	0	0	10,265
経常収益計(A)	431,462	1,388,584	1,820,046	111,123	671,999	783,122	12,733	2,615,901
(2) 経常費用								
① 事業費	475,860	1,779,709	2,255,569	111,927	647,946	759,873	0	3,015,442
文化活動団体等助成金	20,085	0	20,085	0	0	0	0	20,085
役員報酬	3,004	7,837	10,841	0	1,181	1,181	0	12,022
給料手当	134,410	287,624	422,034	28,333	44,448	72,781	0	494,815
賃金	6,244	104,126	110,370	15,700	35,422	51,122	0	161,492
福利厚生費	176	2,233	2,409	71	612	683	0	3,092
法定福利費	22,561	62,751	85,312	6,920	12,733	19,653	0	104,965
報償費	6,120	770	6,890	0	0	0	0	6,890
旅費交通費	2,880	4,174	7,054	58	1,138	1,196	0	8,250
交際費	35	78	113	5	22	27	0	140
消耗品費	12,794	46,131	58,925	2,122	11,900	14,022	0	72,947
燃料費	3,927	53,046	56,973	145	8,186	8,331	0	65,304
会議費	1,165	427	1,592	56	118	174	0	1,766
印刷製本費	10,124	17,397	27,521	501	4,796	5,297	0	32,818
光熱水費	34,512	185,043	219,555	4,274	28,238	32,512	0	252,067
修繕費	27,106	32,829	59,935	432	2,569	3,001	0	62,936
飼料費	0	25,164	25,164	0	0	0	0	25,164
医薬材料費	63	2,841	2,904	0	17	17	0	2,921
賄材料費	0	0	0	13,340	26,840	40,180	0	40,180
通信運搬費	2,621	3,255	5,876	88	865	953	0	6,829
広告料	8,661	30,074	38,735	141	8,295	8,436	0	47,171
手数料	5,356	40,716	46,072	486	11,635	12,121	0	58,193
保険料	393	1,267	1,660	224	414	638	0	2,298
委託料	129,435	339,910	469,345	14,957	56,499	71,456	0	540,801
賃借料	15,783	38,075	53,858	4,240	10,281	14,521	0	68,379
工事請負費	0	20,566	20,566	0	676	676	0	21,242
原材料費	0	0	0	13,600	360,623	374,223	0	374,223

(単位:千円)

科目 \ 区分	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	合計
	公1 文化振興事業	公2 水族館事業	小計	収1 自主事業 文化センター	収2 水族館売店事業	小計		
生物購入費	0	14697	14,697	0	0	0	0	14,697
消耗備品費	0	863	863	108	238	346	0	1,209
負担金	1,097	2,419	3,516	62	1,379	1,441	0	4,957
租税公課費	10,524	11,389	21,913	3,255	3,016	6,271	0	28,184
退職給付費用	8,046	17,498	25,544	1,128	3,655	4,783	0	30,327
雑費	0	78	78	0	22	22	0	100
修繕工事負担金	0	413,091	413,091	0	6,638	6,638	0	419,729
果納付金	6,600		6,600			0	0	6,600
減価償却費	2,138	13,340	15,478	1,681	5,490	7,171	0	22,649
② 管理費	0	0	0	0	0	0	12,686	12,686
役員報酬	0	0	0	0	0	0	1,735	1,735
給料手当	0	0	0	0	0	0	7,719	7,719
賃金	0	0	0	0	0	0	143	143
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	4	4
法定福利費	0	0	0	0	0	0	1,501	1,501
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	165	165
消耗品費	0	0	0	0	0	0	110	110
燃料費	0	0	0	0	0	0	6	6
会議費	0	0	0	0	0	0	23	23
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	189	189
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	22	22
手数料	0	0	0	0	0	0	10	10
委託料	0	0	0	0	0	0	85	85
賃借料	0	0	0	0	0	0	186	186
消耗備品費	0	0	0	0	0	0	1	1
負担金	0	0	0	0	0	0	24	24
租税公課費	0	0	0	0	0	0	2	2
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	668	668
減価償却費	0	0	0	0	0	0	93	93
経常費用計(B)	475,860	1,779,709	2,255,569	111,927	647,946	759,873	12,686	3,028,128
当期経常増減額(A)-(B)	△ 44,398	△ 391,125	△ 435,523	△ 804	24,053	23,249	47	△ 412,227
2 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計(C)	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計(D)	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額(C)-(D)	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額(E)	10,026	0	10,026	0	△ 10,026	△ 10,026	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 34,372	△ 391,125	△ 425,497	△ 804	14,027	13,223	47	△ 412,227
一般正味財産期首残高	127,988	1,275,789	1,403,777	77,974	278,635	356,609	360	1,760,746
一般正味財産期末残高	93,616	884,664	978,280	77,170	292,662	369,832	407	1,348,519
II 指定正味財産増減の部								
① 一般正味財産への振替額	△ 10,265	0	△ 10,265	0	0	0	0	△ 10,265
当期指定正味財産増減額	△ 10,265	0	△ 10,265	0	0	0	0	△ 10,265
指定正味財産期首残高	682,080		682,080			0	0	682,080
指定正味財産期末残高	671,815		671,815			0	0	671,815
III 正味財産期末残高	765,431	884,664	1,650,095	77,170	292,662	369,832	407	2,020,334

公益財団法人いばらき文化振興財団
平成27年度資金調達及び設備投資の見込み書
(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

1. 資金の調達の見込み

借入予定の有無 なし

2. 設備投資の見込み

	事業番号	設備投資の内容	支出予定額(千円)	資金調達方法	
取得	公1	源泉徴収管理ソフト	300	自己資金	
	公2	アクアウォッチング用水中マスク	162	自己資金	
	公2	イタチザメ剥製標本製作	540	自己資金	
	公2	オホーツクの海水槽用魚名表示ボックス	519	自己資金	
	公2	汽水水槽用解説表示ボックス	162	自己資金	
	公2	イルカホールディングプール用冷蔵庫	324	自己資金	
	公2	企画展「子育て展」用冷凍機	151	自己資金	
	公2	ピルル・ブルル着ぐるみ	1,950	自己資金	
	収1	スチームコンベクションオープン	1,350	自己資金	
	収1	飲物用冷蔵庫	800	自己資金	
	収1	立体型炊飯器	600	自己資金	
	収2	ケーキ用冷蔵ショーケース(マーメイド用)	998	自己資金	
			計	7,856	